



翻訳プロセス

イラストレーター: Alex Mathers

レッスン前の準備

あなたの翻訳へのアプローチにもっとも近いものはどれですか？

- 意識的に自分がどこかで学んだ/読んだプロセスに従っている
- 無意識に経験を通して身につけたプロセスに従っている
- 特定のプロセスに従うのではなく、直感的に翻訳を行っている。そして仕事の内容それぞれに合わせたアプローチを取っている

あなたの考えにもっとも近いものはどれですか？

- 翻訳における問題のほとんどは意味を大きく取り違えたことから起こる
- 翻訳における問題のほとんどはトランスレーターのケアレスミスから起こる
- 間違いが全くない翻訳を提供するのは不可能

あなたの翻訳スタイルにもっとも近いものは？

- 直訳: 一語一句を文字通りに訳し、ニュートラルな文体を維持するようにしている
- 言語慣習に基づいた翻訳: 原文の意味や雰囲気表現しながらも、翻訳する言語で自然に聞こえるような翻訳を心がけている
- 原文の内容とお客さまの希望に応じて翻訳。原文とリクエストを読んだうえで、最適な翻訳方法を選択

はじめに

このレッスンでは**翻訳の基本プロセス**をお教えします。

一定のプロセスに沿って翻訳することで、作業にもれがなくなり**より効率的に翻訳**ができます。これは**クオリティとスピード**が欠かせない「翻訳」という仕事には特に重要です。

今回は翻訳の基本プロセスを「手術」の手法に例えながら考えていきましょう。

「翻訳手術」のプロセス



1. 診断



2. 手術



3. 術後



1. 診断

翻訳手術を開始する前に、要望と課題を理解します。

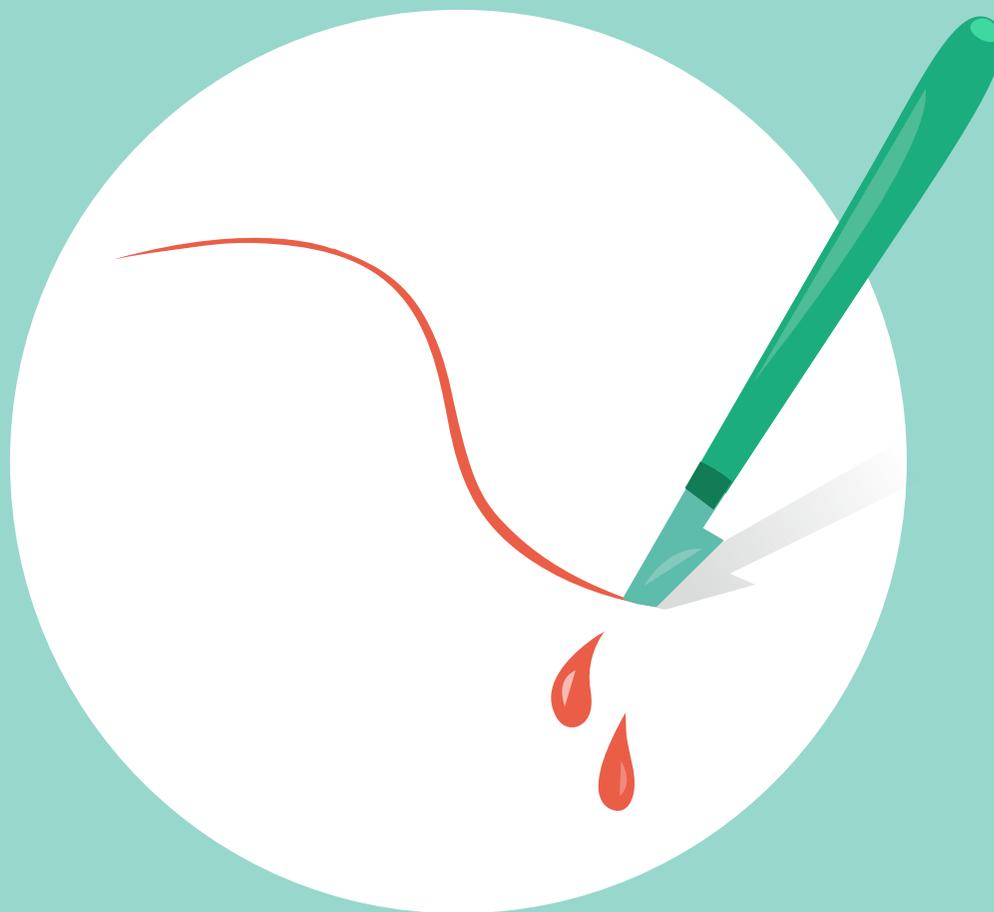


翻訳手術を始める前に、原文とリクエスト内容をしっかり確認します。備考欄に記載されたコメントなど細かい部分も見逃さないように注意しましょう！

その後分からない単語を調べ、お客さまに質問してリクエスト内容や意味を明確に理解します。

手術前の分析

- 原文全体を理解できましたか？
- 与えられた時間内に翻訳できる知識とスキルはありますか？
- お客さまの期待に沿うために必要な情報はすべて揃っていますか？
- 原文の文体やイントネーションは？
- お客さまが希望しているのは、どのようなタイプの翻訳ですか？(直訳/意訳、文化的/言語学的、最終稿/下書き/要約など)

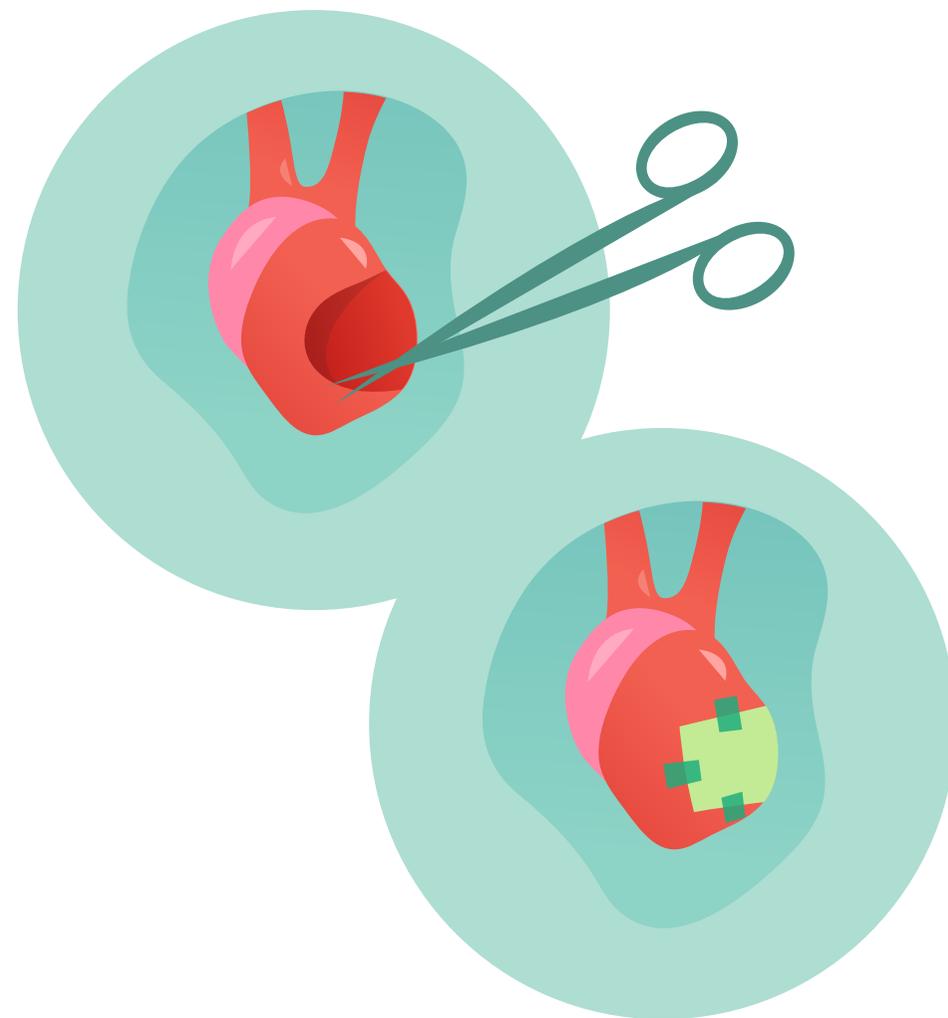


2. 手術

原文を翻訳します。

手術上の注意点

- カンマなど、長い文章を短く区切りたいときに利用できそうな記号はありますか？
- 原文内に長い文があった場合、翻訳で2つの文に分けた方が分かりやすくなりますか？ または、2つの文を1文にまとめた方が分かりやすくなりますか？
- 常に同じように翻訳されるべき単語やフレーズ、構文がありますか？
- 翻訳できない単語やフレーズ、構文がありますか？



1. 診断

2. 手術

3. 術後

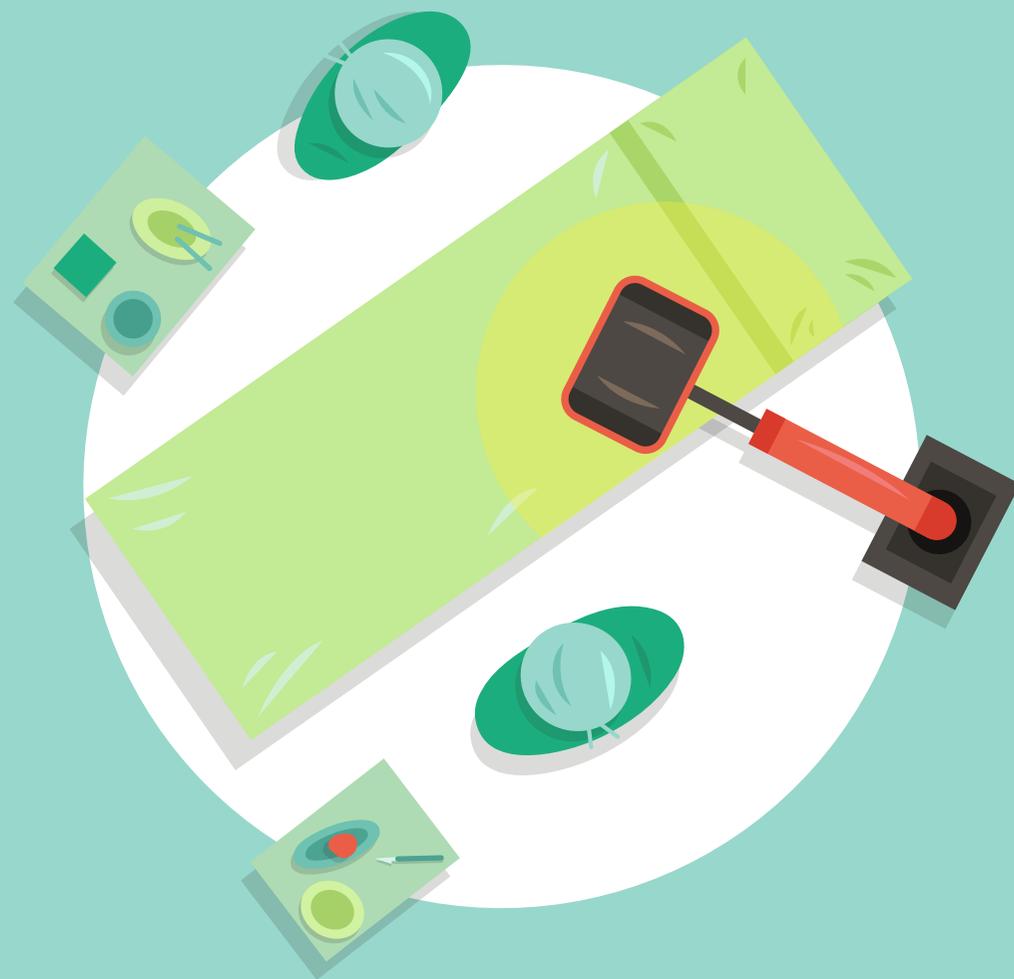


翻訳手術はまだ終わっていません…

この段階で、無事に翻訳手術が終了したとってしまうトランスレーターはたくさんいます。

この時点で翻訳を提出してしまうのは、まるで医者が縫合処置を行わないで患者を退院させるようなものです。

まさに危険で致命的。



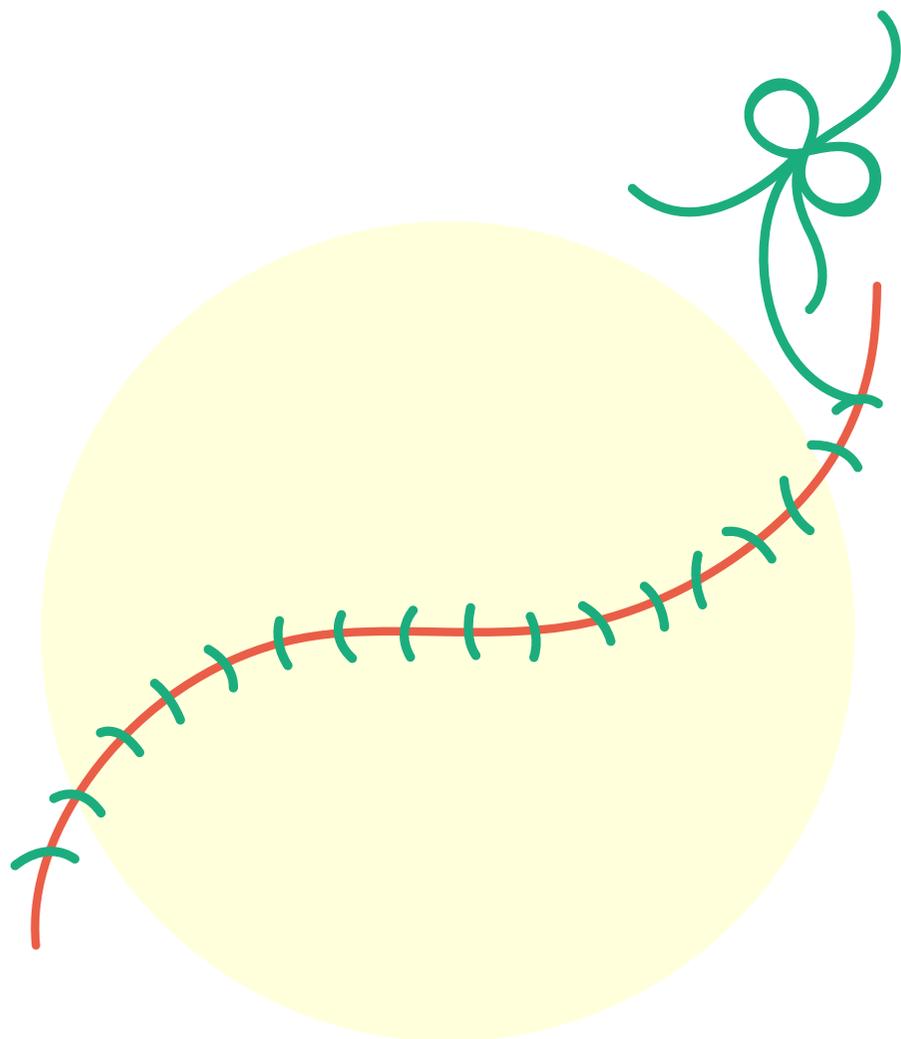
3. 術後

翻訳の完成度をチェックします。

1. 診断

2. 手術

3. 術後



完璧な翻訳を目指してチェック

もちろん生身の人間である限り、誰にも間違いはあるものです。自分の翻訳を読み直して完成度をチェックしましょう。

医者が行う手術では、基本的なチェックリストを使うことで、患者の平均死亡率を40%以上も低減できることが分かっています。

翻訳手術チェックリストを活用して、完璧な翻訳を目指しましょう。

